



ユネスコウィーク 2023 テーマ別関連イベント
ESD 評価フォーラム
—学校と地域の ESD 評価から、持続可能な社会づくりを考える—

実施要項

① 本フォーラム実施の背景、目的

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCUCU)が実施する ESD 評価手法開発事業※1 では、学校現場でどのように ESD を評価するか、またどのような手法を用いるのが効果的か、数年にわたり学校教員を中心とするメンバーで議論してきました。本フォーラムでは、これまでの成果と現在取り組んでいる試みについて紹介します。

一方で、地域での学びに取り入れられた ESD は、その評価も学校とは異なるアプローチで取り組まれています。様々な評価のあり方に触れ、学び合うことで、学校と地域の連携やその先につながる持続可能な社会づくりを考える機会としたいと思います。

多様なステークホルダーが手を取り合い、ユネスコ活動を軸に持続可能な社会の実現を目指すユネスコ未来共創プラットフォーム事業※2 の関連イベントとして、学校と地域それぞれの視座から ESD の評価をみつめ、国内外の知見の交流により ESD 評価のこれからを考えることを目的として、本フォーラムを実施します。

※1 これまでの事業成果については右記サイトを参照: <https://www.accu.or.jp/programme/project/esd/>

※2 文部科学省 HP: https://www.mext.go.jp/unesco/015/index_00001.htm

② 日時・開催方法

2023 年 2 月 23 日(木、祝) 16:00~18:00 オンライン(Zoom)

③ お申込み

下記オンラインフォームよりご登録ください。(2/22(水)15 時まで)

<https://forms.office.com/r/jcTC4HEyVM>

※当日のフォーラム参加 URL 等の詳細は申込み受付後、追ってご連絡します。

④ 対象者

国内外の ESD の評価に関心をもつ教育関係者、行政職員、学生など

※日英同時通訳あり

⑤ プログラム

(敬称略)

タイムライン		内容
15:50	10分	入室
16:00	15分	開会 ACCU 教育協力部長 大安 喜一 (趣旨説明、5分) ユネスコ本部 ASPnet 国際コーディネーター 斎藤 珠里 (ESDと評価、学校と社会の連携について、10分)
16:15	40分	モデレーター:ユネスコ・バンコク事務所 萬 理加 事例紹介 (各発表 15分以内、続いて質疑応答) <u>① 学校教育分野におけるESDの評価</u> ESD 評価手法開発事業より: 全国小中学校環境教育研究会 棚橋 乾 (事業の概要) 気仙沼市立新城小学校 熊谷 久恵 (実践発表)
16:55	40分	<u>② 社会教育分野におけるESDの評価</u> 平塚市公民館事業より: 東海大学 池谷美衣子 (社会教育、公民館の概要、評価) 平塚市中央公民館 海老澤建志 (実践発表)
17:35	20分	コメント (各10分) ドイツユネスコ国内委員会 Klaus Schilling ロイヤルメルボルン工科大学 Jose Roberto Guevara
17:55	5分	まとめ ユネスコ・バンコク事務所 萬 理加
18:00		閉会 ACCU 大安 喜一

⑥ 問い合わせ先

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU) 教育協力部 担当:藤本
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32-7F 出版クラブビル
電話 03-5577-2852 Email education@accu.or.jp